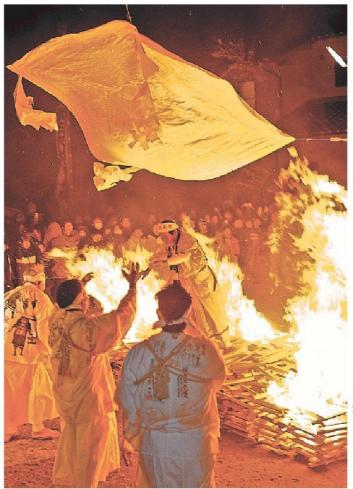


静岡新聞で学ぼう





燃えさかる炎の上を舞う大凧=18日午後7時57分、浜松市 西区篠原町の秋葉山分院保泉寺

儀式では、今年は「大吉」 1年の吉凶を占う恒例の凧(たこ)の滞空時間でれた。炎の上に舞った大 統行事「火渡り」が行わ夜、明治時代から続く伝葉山分院保泉寺で18日葉山分院保泉寺で18日

宙舞う大凧に 息災の祈り込め

白装束の行者が6畳ほ との四角い和紙で作った 大凧を燃えさかる炎の上 に放つと、凧は熱気流を はらんで、3分間以上も はらんで、3分間以上も はらんで、3分間以上も を高く舞った。 炎の勢いが弱まったと ころで、行者を先頭に参 で走り抜け「無病息災」 などを祈った。

2013年1月19日朝刊 社会

- ① 浜松市の保泉寺で行われた伝統行事は何ですか。
- ② この行事はいつから続いていますか。
- ③ あなたの地域の伝統行事を調べましょう。大人の人に聞きましょう。

年 組 名前